

半邊蓮

く生ずる也。花形は木蘭に似て葉は細長し、
〔倭訓栞前編六〕からくさ草の名にいふは半邊蓮也。駿州にてかたいかりといふ、鐵猫兒イリカに似て花の偏なるをもて也。賀州にて根せりともいふ、此草地に就て生じ、芹の氣味あるをもて也。

〔重修本草綱目啓蒙十二〕半邊蓮 カラクサ ハタケムシロ サンセウグサ 藝州 キクガラク

サレンゲヅル アゼムシロ ミゾカクシ カタイカリ 播州 デシバリ 加州同 一名半

枝蓮 農圃六書

小草ナリ、圃側溝邊ニ地ニ就キ蔓延シ、土モ見ヘザルニ至ル、故ニハタケムシロ、及ビミゾカクシノ名アリ、葉ハ雀舌草ノ葉ニ似テ、厚ク大ニシテ鋸齒アリ互生ス、淡綠色、夏月枝頂ゴトニ一花ヲ開ク、大サ三四分許、五瓣一方ニ偏生シテ菊花ノ半邊ノ如シ、故ニ半邊蓮ノ名アリ、其色淡紫或ハ純白ニシテ微香アリ、今描花ノ邊花ハ此草ノ象ヲウツセリト云フ、一種江州ノ産葉長寸許ナルアリ、花モ亦大ナリ、

〔廣益地錦抄七〕半邊蓮 宿根より春生る、尺ばかりの小草にて、地にはびこる、葉五枚ヅ、出て、切まはし見事に、車の半輪のごとく、花は五六月さく、うすむらさき花形も又車の半輪のかたちなれば、車軸草といふ、段々枝多ク出花葉まげく付ク、小草なり、鉢植にしてながめたへず、愛賞すべし。

〔武江産物志藥草〕上野邊ノ産 半邊蓮 あせひしる 谷中

〔新撰字鏡草〕鞠菊 二上字左。支。奈。 菊花 辛。興。毛。支。

〔本草和名六〕菊花、一名節華、一名日精、一名女郎、一名女華、一名女莖、一名更生、一名周盈、一名傳延年

一名陰成、一名苦意味苦、楊玄、白菊種出陶景注、一名周成也、一名神精也、一名神華也、一名神英也、一

名長生根名也、已上、五名女嬴、一名盧兼名出、菊花者月精也清經、一名日華、一名延年也、華一名生嬰

名菊
稱